

スケジュール等に合わせ、研究会としてのまとめの方向づけを次回あたりから行うこととした。

### 日本圧力容器研究会議

#### 材 料 部 会

第 18 回水素脆化専門委員会 開催日：8月31日。出席者：乙黒委員長，ほか 16 名。

1. JPVRC 運営委員会報告
2. 水素脆化専門委員会 Final Report の WRC Bulletin への掲載について
3. 圧力容器用鋼材の水素脆化に関する予備調査について

### 鉄鋼技術情報センター

第 35 回センター編集委員会 開催日：9月14日。出席者：染野委員長，ほか 17 名。

1. 第7回センター共同研究会の開催要領を決定し

た。10月20日(木)，新日鉄新山谷寮において

2. 各種委員会報告  
センター編集委，情報検索委，図書資料委の上半期事業の報告を受けた。特に，センター編集委の「鉄鋼技術総覧」誌の改定問題について意見が交換された。
3. センターの業務状況と，上半期収支実績について報告を受けた。公衆回線用端末機の普及により，会員の割引率を 50% から 10% に改訂した。非会員については従来通り。

第 20 回図書資料委員会 開催日：9月16日。出席者：小森委員長，ほか 15 名。

1. 鉄共研資料のマイクロ化，及び利用システムについて
2. 学振資料の利用管理システムについて
3. 各社における BISIT Translation の広報について
4. その他

### 原稿募集案内

#### 「鉄と鋼」特集号原稿募集

### テーマ：鉄鋼製造のための新しい計測技術

原稿締切日 昭和 58 年 11 月 10 日 (木)

鉄鋼の製造プロセスは，多くのプロセス・パラメータによりその状況が支配されている。1. 圧力・荷重，2. 変位・変形，3. 形状，4. 速度・加速度，5. 流量，6. 温度，7. 疵，8. 表面性状，9. 材質・組織，等の計測の対象とすべき要目や現象は多い。現在，プロセス自動化の充実は目ざましく，制御の面でも新技術の開発が盛に行われているが，なお，計測技術の進歩・発展にまたなければ十分な制御技術の進展は望めない。そこで今回は，計測技術を中心に特集号を企画した。

下記により原稿募集いたしますのでご投稿下さい。

#### 記

1. 原稿締切日 昭和 58 年 11 月 10 日 (木)
2. 発行 鉄と鋼第 70 年第 9 号 (昭和 59 年 7 月号)
3. 原稿枚数 1) 論文は刷り上り 8 ページ以内 (表，図，写真を含めて本会所定の原稿用紙 40 枚以内)  
2) 技術報告は刷り上り 7 ページ以内 ( 〃 35 枚以内)  
3) 寄書は刷り上り 3 ページ以内 ( 〃 15 枚以内)

(注) ・原稿は本会投稿規程に基づいて執筆して下さい。  
・投稿された論文は編集委員会において審査されます。

#### 4. 問い合わせ・原稿送付先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 F

(社)日本鉄鋼協会編集課 電話 03-279-6021 (代)

(注) 投稿時，原稿表紙に「計測特集号」と朱書きして下さい。